2025年度（総合型選抜）AO選抜入学試験
生命科学部「探究活動評価方式」

１．実施状況

⑴ 志願者数、合格者数等

学科・学域・専攻等	志願者数	最終合格者数
応用化学科	1	0
生物工学科	4	3
生命情報学科	1	0
生命医科学科	3	2
計	9	5

⑵ 本入学試験の目的

本入学試験では、次のような者を積極的に評価し、受け入れることを目的とします。

・高等学校等での探究的な学習、課題研究・自主研究等への取組みを通じて、科学に関する課題研究・自主研究等の遂行能力、実験結果解析能力、プレゼンテーション能力、考察力、コミュニケーション能力を身に付けようという意欲を持っている。
・生命科学部の各分野に強い関心を持ち、当該分野の諸課題を追究・解決しようという意欲を持っている。
・入学後、生命科学部での学びの上に、各分野における興味・関心を大学入学後にさらに発展させようという意欲を持っている。
・卒業後、生命科学部に関連する分野において、国際的に通用する研究者・技術者になりたいという意欲を備えている。

２．試験内容

⑴ 書類選考（「エントリーシート」、「志望理由書」、「活動実績報告書」等）

・エントリーシート：高等学校等での学習面での取り組み状況や成果（探究的な学習、課題研究・自主研究等以外（800 字以内）、卒業後の進路（就職や大学院進学など）についての希望（1,200 字以内）
・志望理由書：志望する学科において入学後に学びたい分野やテーマ（800字程度）
・活動実績報告書：高等学校等で取り組んだ探究的な学習、課題研究・自主研究等について

⑵ プレゼンテーションと質疑応答

高等学校等で取り組んだ探究的な学習、課題研究・自主研究等についてのプレゼンテーション（1人につき10分程度）ならびに受験生同士や選考委員との質疑応答（1人につき15分程度）。

３．出題の意図

⑴ 書類選考

エントリーシート、志望理由書、活動実績報告書により、高等学校等での学習面の取組みや、志望理由、入学後の展望について確認することを目的としました。特に、活動実績報告書では、高等学校等で取り組んだ探究的な学習、課題研究・自主研究等の活動が、科学の基礎的な知識に基づいて論理的に考察されているかについて確認することを目的としました。

⑵ プレゼンテーションと質疑応答

プレゼンテーションでは、探究的な学習、課題研究・自主研究等に関する要約または補足が的

確であるか、他者の質問に対する応答が的確であるか、および、これらが科学的思考に基づいているか等を確認することを目的としました。他者のプレゼンテーションに対する質疑では、質問の思考力、的確性を確認することを目的としました。

４．評価のポイント

以下の⑴と⑵を総合的に評価しました。

⑴ 書類選考

エントリーシートと志望理由書より、高等学校等での学習面の取り組みや学習意欲・関心等、総合的に評価を行いました。特に志望理由に関しては、志望学科の分野への関心の高さを重視し、入学後の展望について評価しました。

⑵ プレゼンテーションと質疑応答

プレゼンテーションでは、要約や補足が的確かどうか、かつ科学の基礎知識および科学的思考に基づいているかどうかをポイントとして評価しました。複数人で行われた探究的活動の場合、受験生本人の役割や貢献内容をあわせて評価しました。また、質疑応答では、他の受験生や選考委員からの質問に対する応答が科学的根拠に基づいて的確かつ論理的に説明されているかを評価のポイントとしました。

他者のプレゼンテーションに対する質疑では、傾聴力や質問の的確性に加え、柔軟な思考力を有しているかを評価のポイントとしました。

５．解答状況

これまで探究的な学習や課題研究・自主研究等に取り組んできた受験生を対象とした入試だけあって、入学後の学習や研究に対する意欲の高い受験生が多く、おおむねプレゼンテーションや資料はよく準備され、質疑応答も積極的になされていました。ただ、残念ながら、プレゼンテーションから意欲は感じられるものの、発表された探究活動の背景にある科学についての質問に的確に答えられず、基礎的な科学知識や論理的思考力が不十分で表面的な理解にとどまっていると判定されたケースもありました。

６．次年度の受験生へのアドバイス

生命科学は総合的な学問で、研究対象やテーマに応じて、幅広く多様な科学の知識を活用します。高等学校等で実施した課題研究や自主研究も探究をしていくと、一つの分野に収まらず、物理学、化学、生物学、農学、工学、医科学、薬学、情報学、科学全体に広がっていきます。しかしながら、高等学校で学習する内容から考察できることもたくさんあります。大学入学後にさらに探究を深めていく上でも、知識・思考力の基礎がしっかりしていることは不可欠です。そのために、地道に日々の学習を大切にし、広い視点から物事をとらえることが大切です。

生命科学部では、学び探究し続ける意欲のあるみなさまからの志願をお待ちしています。

以上